

集団的自衛権 Q&Aで解説

弁護士有志が冊子出版

大阪の弁護士ら8人が、憲法の基本理念を知り、集団的自衛権の意味をあらためて考えてもらおうと、ブックレット「国際法・憲法と集団的自衛権」(清風堂書店)を出版した。

弁護士らでつくる自由法曹団大阪支部が、昨年9月に国際法の専門家である松井芳郎名古屋大名誉教授を、10月には憲法が専門の森英樹名古屋大名誉教授をそれぞれ招いて勉強会を開催。戦争と自衛権を国際法ではどのように扱ってきたのか、日米安保条約と集団的自衛権はどのような関係なのかなど、勉強会で2人が講演した内容を一般の人にもわかりやすいようQ&A方式に編集し直し、漫画や解説を加えた。

有志の一人、伊賀興一弁護士は「日本は今、岐路に立っている。集団的自衛権の閣議決定が、国際法的

な、また歴史的な流れのなかでどういう意味を持つのか、あらためて考えて欲しい」と話す。A5判80頁、648円(税別)。問い合わせは清風堂書店(06・6316・1460)。

(大貫聡子)